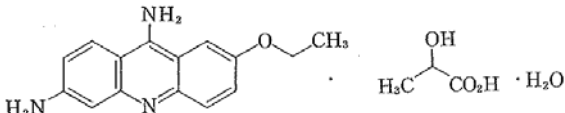


ドラッグインフォメーション

平成30年4月改訂

販売名	アクリノール「コザカイ・M」	発売元	吉田製薬株式会社							
局方名	日本薬局方 アクリノール水和物	製造販売元	小塚製薬株式会社							
洋名	Acrinol Hydrate	発売年月	1967年7月							
一般名	アクリノール水和物	薬価収載年月	1967年7月							
剤形	散剤	薬価	1g 60.90	健保適用						
規制区分	普通薬	日本標準商品分類番号	872619							
厚生労働省薬価基準収載医薬品コード		2619714X1067	YJコード	2619714X1067						
構造式	 <p>分子式：C₁₅H₁₅N₃O·C₃H₆O₃·H₂O</p>		性状	<p>黄色の結晶性の粉末である。 水、メタノール又はエタノール(99.5)にやや解けにくい。 本剤1gを水100mLに溶かした液のpHは5.5～7.0である。 融点：約245℃(分解)。</p>						
組成	本剤1g中に、日局アクリノール水和物1gを含有する。									
効能効果	化膿局所の消毒 泌尿器・産婦人科術中術後、化膿性疾患(せつ、よう、扁桃炎、副鼻腔炎、中耳炎) 口腔領域における化膿局所の消毒									
用法用量	化膿局所の消毒：0.05～0.2%の液として使用する。 含嗽：0.05～0.1%液で含嗽する。									
配合変化	アクリノール水和物は水にやや溶けにくい乳酸塩であるが、塩酸塩は溶けにくい(1→260)。したがって、Cl ⁻ が共存する場合は、濃度により塩酸塩、塩酸エタクリジンを析出することがある。									
薬効薬理	グラム陽性菌・陰性菌に有効で、特にレンサ球菌、ウェルシュ菌、ブドウ球菌、淋菌に対し、静菌及び殺菌作用を示す。作用機序としては、生体内でアクリジニウムイオンとなり細胞の呼吸酵素を阻害するといわれている、生体組織にほとんど刺激を与えず、血清やたん白質の存在下でも殺菌力は低下しない。									
毒性	致死量 マウス：75mg/kg(皮下)、41.65mg/kg(腹腔) ウサギ：100mg/kg(皮下)、50mg/kg(腹腔、静脈)									
使用上の注意	1. 副作用 本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。 <table border="1" data-bbox="284 1608 1423 1727"> <tr> <td>種類 \ 頻度</td> <td>頻度不明</td> </tr> <tr> <td>皮膚^{注1)}</td> <td>塗布部の疼痛、発赤、腫脹等があらわれ、さらに潰瘍、壊死を生じる</td> </tr> <tr> <td>過敏症^{注2)}</td> <td>過敏症状</td> </tr> </table> 注1)このような症状があらわれた場合には使用を中止し、適切な処置を行うこと。 注2)このような症状があらわれた場合には使用を中止すること。				種類 \ 頻度	頻度不明	皮膚 ^{注1)}	塗布部の疼痛、発赤、腫脹等があらわれ、さらに潰瘍、壊死を生じる	過敏症 ^{注2)}	過敏症状
種類 \ 頻度	頻度不明									
皮膚 ^{注1)}	塗布部の疼痛、発赤、腫脹等があらわれ、さらに潰瘍、壊死を生じる									
過敏症 ^{注2)}	過敏症状									
	2. 適用上の注意 外用にのみ使用し、内服しないこと。									
取扱上の注意	貯法：遮光した気密容器 その他：衣服に付着すると黄色に変色し、脱色しにくいので注意すること。									
備考	包装単位：25g 使用期限：3年間	文献請求先	吉田製薬株式会社 学術部 東京都中野区中央5-1-10 TEL 03-3381-2004							